

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅱ）対象：（第3学年1組～6組）

教科担当者：（1・2組：上園 ㊟，寺尾 ㊟，村松 ㊟）（3・4組：高橋 ㊟，藤原 ㊟，紀伊 ㊟）（5・6組：藤原 ㊟，上園 ㊟，寺尾 ㊟）

教科・科目の指導目標	基礎的な英語力を確立させ、コミュニケーション能力へと繋げる。
------------	--------------------------------

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1) 教科書の本文をくり返し聞くことで、リスニング力の向上につながった。 2) 教科書を音読することで、一定量の英文を読む力がついた。 3) 選択科目の効果もあり、全般的な英文法の理解を深めることができた。 4) 音読の活動を通じて、英語の発音についても関心をもつようになった。	1) 教科書の内容にとどまらず、より多くの英語を聴くことで、さらなるリスニング力の向上を目指す。 2) 2年次に学習した英文法の知識を活かし、論理的に英文を読むことを目指す。 3) バランスよく4技能の習得を目指すとともに、特にスピーキング・ライティングなどアウトプットの力を要する技能の向上を目指す。	1) 基礎的な音読活動からさらに発展し、視覚教材などを活用したリテリングやリプロダクションといった応用的な活動につなげていく。発音をより意識することでリスニング力の向上につなげる。 2) 英文をできるだけ大きな意味のかたまり（チャンク）としてとらえ、文全体の構造を理解したうえで英文の意味を考えられるように指導を行う。 3) ペアワーク・グループワークを通じてアウトプットの機会を増やし、スピーキング・ライティングの指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			